

トレーニングの有用性

トレーニングを受ける介護職員にとっての利益

- 仕事を最も効果的に行うための準備となります
- 自信をつけます
- モチベーションを高めます
- 働く気力を高めます
- 昇格につながります
- 業務中のストレスや疑心暗鬼なことを解消します
- 組織の中で成功をもたらします

部署にとっての利益

- 機動性・機動力・業務の円滑化を向上させます
- コストの削減をします
- 強いチーム力を生みます
- 業務上の危険性を削減します
- 良いイメージを創造します
- 良い人材を生み出し、引き寄せます
- 欠勤率や人手不足を解消します
- 離職率を下げます

患者様及びそのご家族等に対しての利益

- 良質の業務内容を提供できます
- 良質のサービスを提供できます
- 入院期間やお見舞いをより価値あるものにします
- お支払いになる費用が当然の費用と受け取ります
- 療養生活上の安全性を向上します

トレーニング評価表

| 観察のポイント | 考えられる理由 | 解決方法 |
|--|--|---|
| 介護職員がトレーニングを受けたにもかかわらず、何かの業務につまずき、業務施行上問題が起こる。 | トレーニングにおいて十分に練習ができず、その業務にしばらく従事していなかった。 | トレーニング中に反復訓練を集中的に行う。 |
| 介護職員が業務に対しトレーニング及び実際の業務の両方で疑問や迷いが生じた。 | トレーナーとのコミュニケーションやトレーナーのサポートがうまく行われていなかったか、トレーニングの内容が明確に介護職員に伝わっていなかった。 | 業務のポイントをわかりやすくする方法を考える。単純にポイントを説明する。トレーニングのステップを増やし細分化する。更にかみくだいて伝える。 |
| 介護職員がトレーニングに無い業務内容に遭遇した。 | トレーニングが行われていない。 | もし、これが多くの介護職員から発生したら、そのトレーニング・プログラムを作成する。そうでなければ個人トレーニングで解消する。 |
| トレーニングが行われたにもかかわらず、同じミスを繰り返し行う。 | トレーニング中に指導が充分でなかったか、その人の意見が取り入れられていなかった。 | その介護職員の意見を聴取し、個人トレーニングでそのミスを解消する。 |
| 介護職員がトレーニングを受けたにもかかわらず、指導された手順で業務を遂行できない。 | 介護職員が手順の順番や重要性の根拠を理解していない。 | なぜそのように施行することが重要なのか根拠を伝える。 |
| 介護職員がしっかりした手順で仕事をしようがしまいが気にしない。 | トレーニングがその介護職員の業務に対するモチベーションを上げる効果を持たなかった。 | トレーニング中にその介護職員に「あなたはチームの一員なのだ」と言うことを認識するように励まし、その介護職員の仕事内容がどのように他の介護職員に影響を与えるかを説明する。また、患者様に与える影響も伝える。 |

介護職員研修プログラム・チェック基準

1. 介護者自信の身だしなみ

- ① 髪は短く、または束ねられている
- ② 爪が短く切られている
- ③ ユニフォーム:こまめに洗濯されている
規定の組み合わせで着用されている
- ④ 靴:汚れていない
サンダルではなくスニーカーを着用している
- ⑤ 装飾品:腕時計、イヤリングは身に着けない、派手なアクセサリーは控える(ピアスは1つまで、揺れない、垂れない)

2. 物品配置場所の確認

- ① 物品の配置場所の把握できている(病棟内、物品倉庫、不潔庫等)
- ② 院内の各セクションが把握できている(RH 室、洗濯場、レントゲン室、CT 室、検査室、外来診療室、事務室、看護師長室等)

3. 一日の仕事のスケジュールの把握

- ① 一日の業務の流れが把握できている(タイム・スケジュールに合わせた動きができている)
- ② 週間業務予定の把握ができている(リハ日、レク日、嚥下訓練日、病衣・寝具交換日、入浴日等)

4. 患者様の把握

- ① 部屋番号・氏名を全員把握できている
- ② 感染症患者様の把握ができている(MRSA、緑膿菌、ウイルス性肝炎等)
- ③ 患者様ごとに合わせた対応ができている(排泄、食事、整容、トイレ誘導、更衣等)
- ④ 患者様の状態の把握ができている(麻痺、拘縮、DM、食事内容＝経口摂取 or 経管栄養、バルーン・カテーテル留置等)

5. 環境整備

- ① 整理整頓に気を配り実行できている(特に患者様のベッドまわり)
- ② 状況に応じた室温調節、換気に配慮できている
- ③ 必要常備品(ティッシュ、タオル等)の確認・補充ができている

6. ベッド・メイキング

- ① リネン類が乱れなく整えられているよう配慮できている
臥床時:枕の位置、衿もと、足もと等

離床時:気持ちよく戻れるよう整理整頓ができています

- ② ベッド上はシワがなく、コロコロされ、不要寝具はきちんとたたまれている

7. オムツ交換の準備

- ① 必要物品のセットができています(ベルコム・ローション or ゴージョー、グローブ、メディフレッシュ、バケツ、使用済みオムツ及び下拭き用の袋、・便/尿量測定用のビニール袋、陰部洗浄用ポンプ→9:00、13:30のみ。その他適宜で陰部洗浄用ポンプ使用)
- ② 陰部洗浄用ポンプの微温湯が適温である

8. オムツ交換

- ① 声かけがきちんとできています(汚い、臭いは禁句!)
- ② 患者様のプライバシーに対する配慮ができています
- ③ 尿量測定ができる
- ④ 陰部洗浄時汚れをきちんと落とせている
- ⑤ リフレ、小パッド等が適所にあてられる(モレ及び不快感への配慮)
- ⑥ 清潔、不潔の区別ができ、手指消毒が徹底できている
- ⑦ 一連の動作がスムーズであり問題なくこなせている
- ⑧ 交換後のグッズのあて方、体位変換の仕方、ベッド・メイキングが適確にできている

9. 使用後オムツの処理方法

- ① 汚物類を仕分けし、適所にまとめられている
- ② 使用後の物品(バケツ等)をアルコールで拭き、所定の場所に戻すことができている
- ③ 下拭きの補充ができています
- ④ 陰部洗浄用ポンプの消毒ができています

10. 病衣交換

- ① 患者様に合わせた病衣・日中着の準備ができています
- ② 患者様に合わせた着脱ができています
- ③ 病衣・日中着の交換日及び交換時間帯を把握している
- ④ 交換後の後片付けが適切に行われている

11. 体位変換

- ① 定時体位変換を把握できている
- ② 患者様に合わせて体位変換用具(あてもの)を適切に使用できている
- ③ 体位変換の必要性を理解できている
- ④ 良肢位を考え、負担の少ない体位変換ができています

12. リネン交換(シーツ、コロンボ、包布、枕カバー、タオルケット等)

- ① 必要リネンの準備ができています

- ② 定時交換日を把握できている
- ③ リネン交換が適切かつスムーズにできている
- ④ リネン類の分別、後処理(下物まで)が適切におこなわれている

13. 下物

- ① 下物の降ろせる時間帯を把握できている
- ② 下物の各置き場と置き方を把握している
- ③ リネン類下物の際、袋の色別と正しい分類ができている(1F:不潔庫内、医療廃棄物、破損品に至るまで)
- ④ リネン類の臨時交換カートが適量(7分目)になったら交換できている
- ⑤ 各下物の保管場所を把握し、必要量の補充ができている(ダンボール、ガムテープ、ポリ袋)
- ⑥ 紙オムツのダンボールは取手を扉側とし出されている
- ⑦ 枕カバーをまとめ出す際、ばらして出されている

14. 洗濯物処理方法

- ① 汚れは落としてから所定のカゴに入れられている
- ② 血液、嘔吐物汚染の場合はミルクポンを汚物面に浸け、つまみ洗い後、所定のカゴに入れられている
- ③ 感染症患者様が使用した洗濯物は分別しビニール袋に入れ、口を閉じ、洗濯物の一番上にわかりやすく置かれている
- ④ エプロン等はネットに入れてから所定のカゴに入れられている
- ⑤ 洗濯済みの洗濯物を所定の保管場所にきちんと戻すことができている

15. ベッド・アップ

- ① 安全に配慮したベッド・アップができている(良肢位の確保、高さ、角度等)
- ② 声かけがきちんとできている

16. 食事の準備

- ① 必要物品を所定の位置に準備することができている
- ② 各患者様にあった食事環境のセットができている

17. 配膳及び食事介助

- ① 声かけがきちんとできている
- ② 間違えることなく正確に配膳できている
- ③ 安全な食事介助への配慮ができている(嚥下状況の確認等)
- ④ トロミ使用者の把握ができている

18. 下膳及び後片付け

- ① 食後の患者様、周囲の清潔を確保できている(顔や手は汚れていないか? テーブルや床に食べこぼしはないか? 等)
- ② 使用済み物品を基本の手順に従い、片付けることができ、所定の位置に戻すことができる

19. 口腔洗浄

- ① 必要物品の準備及び後片付けができている
- ② 安全と清潔に配慮した口腔洗浄ができている(口腔内を傷つけていないか? 舌や歯茎も洗浄できているか? 等)

20. 車椅子介助

- ① 車椅子、座布団など必要物品の準備及び後片付けができている
- ② 患者様の状態に合わせ適所に車椅子をセットできている
- ③ 患者様に負担の少ないトランスが声かけと同時に行えている
- ④ 車椅子移乗後、良肢位の確保に配慮されている

21. 清拭・手足浴・洗髪・爪切り

- ① 必要物品の準備及び後片付けができている
- ② 患者様への声かけができている
- ③ 介護手順に沿ったケアができている

22. 入浴の準備

- ① 浴室で使用する必要物品の準備ができている
- ② 病棟で使用する必要物品の準備ができている

23. 入浴時の搬送

- ① 患者様及びスタッフへの声かけができている
- ② 安全確認ができている(ストッパー、ベルト等)
- ③ 負担の少ない搬送ができている(患者様をしっかりと抱え込めているか? 振動の少ない搬送ができているか? 等)

24. 入浴介助

- ① 患者様及びスタッフへの声かけができている
- ② 安全に入浴できるよう配慮ができている
- ③ 浴室の清掃を含め、後片付けができている(物品の補充含む)

25. 介護記録の記入

- ① 規定の記録方法を理解しミスなく記入できている
- ② 伝達事項を正しく記録することができる

26. 物品の出し入れ及び手続き

- ① 各物品の保管場所を把握できている
- ② 物品庫の持ち出し記録に正確に記帳できている
- ③ 物品が不足していることを速やかに気づき補充できている

27. レクレーションの実施方法

- ① 必要物品の準備及び後片付けができている
- ② 患者様を安全かつ速やかに誘導できている
- ③ 積極的に患者様と携わり盛り上げている
- ④ 患者様に合わせたレクレーション内容の選択ができている

28. 経管栄養の取扱方法

- ① 経管栄養業務に関し担当看護師の業務を見学し、一連の流れを理解している
- ② 追い水を注入することができる
- ③ 注入後、漏れることなく接続をはずしカテーテル処理ができている
- ④ イルリガートル等、使用済み物品の後片付けができている

介護職員研修日誌

年 月 日

氏名 _____

| 時間 | 業務項目 | 内容 | 留意点 |
|-------------------------|------|----|-----|
| 今日の反省点、感想、学んだこと、疑問及び不安点 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 教育担当者のコメント | | | |
| | | | |
| | | | |

年 月 日

トレーニングの評価・質問表

研修者氏名： _____ 病棟 _____

トレーニング・テーマ _____

1. トレーニングは役に立ちましたか？

はい いいえ どちらとも言えない

どちらとも言えない場合、その理由を簡単に記載してください。

2. どの知識や手順が最も役に立ちましたか？

3. トレーニング後に一人でもこの業務はできると言う気持ちになりましたか？

はい いいえ どちらとも言えない

どちらとも言えない場合、その理由を簡単に記載してください。

4. このトレーニング後に、まだこの部分のサポートが必要だと思う点がありますか？

はい いいえ

必要だと思う点がある場合、どの部分か簡単に記載してください。

5. 現在のあなたの業務の中で、トレーニングを行って欲しい業務はありますか？

はい いいえ

トレーニングを行って欲しい業務がある場合、どの業務か簡単に記載してください。
